

大宮保育園の民間移管に向けた三者協議会開催報告

令和3年12月3日
奈良市子ども政策課
学校法人白藤学園
大宮保育園保護者会

令和3年11月12日 令和3年度第2回開催内容

平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この度、大宮保育園の民間移管に向けて、大宮保育園保護者会、移管先法人である学校法人白藤学園、奈良市において第2回目の三者協議会を令和3年11月12日に開催しましたので、保護者の皆様に報告いたします。

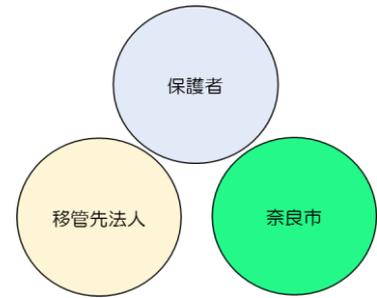
今後も民間移管に向けて三者協議会を開催し、その都度保護者の皆様には開催報告の配布等により情報提供させていただきます。

1 三者協議会について

◆ 三者協議会とは・・・。

民間移管に向けて、実費徴収金額等の移管後の園運営に関する諸事項について、在園児保護者代表・移管先法人・奈良市の三者から構成される三者協議会での協議を行い、保護者に対して十分な説明を行った上で導入するという取組です。

移管後については三者での協議が必要な事項が発生した場合に三者の内いずれかの申出があれば開催できることとしています。



2 第2回 三者協議会の開催内容について

第2回目の三者協議会では、前回の三者協議会の開催報告に併せて実施した保護者アンケートにより集約された意見について、法人の考えや意図を説明するとともに、前回に引き続き、移管後の公私連携型保育所の運営内容等に係る提案について協議を実施しました。

今後も、今回の協議内容や新たに協議が必要な事項があれば、ご意見をいただきながら協議を進めていくことになります。

当日の議題について

- 1 移管後の運営内容等について
- 2 その他

当日の議事内容の概要と質疑応答

1 移管後の園運営内容等諸事項について

※特に記載のないものは、白藤学園からの説明事項です

<「園名称」「開園時間」「延長保育料金」について>

奈良市より：移管先法人である白藤学園からの提案については、現状の運営内容を基本としておりますが、土曜日の開園時間が1時間延長される事等については、サービスアップとなっております。特に意見がなかった、「園名称」「運営時間」「延長保育料金」については、移管後の運営内容として進めていただきたいと考えています。

<基準服やスモックについて>

- 白色のポロシャツと紺色のズボンを基準服（3歳児以上）とします。メーカーなどの指定はないので、各家庭でご準備いただき、登園時や行事の際に着用をお願いします。登園後に汚れた場合などの着替えは私服で問題ありません。季節や体調に合わせて長袖やセーター、長ズボン等の着用も適宜調整いただいで結構です。基準服の着用によって、保育園に登園するという気持ちの切り替えや仲間意識にもつながると考えています。
- 令和4年度の4・5歳児については、移管に係る準備期間として購入するかどうかは各家庭の判断にお任せしますが、令和4年度の3歳児から着用いただき、令和6年度には3～5歳児に着用をお願いします。
- スモック（3歳児以上）は、作業着として制作の時や汚れる遊びの際に着用いただくものとして導入したいと考えています。

Q 基準服の半ズボンの下にタイツなどを着用することも可能でしょうか。

A ズボンは体操服がイメージしやすいと思いますが、体調が悪い時等は色味を合わせた長ズボンを着用いただいても結構ですし、タイツを着用いただいても結構です。

Q スモックも各家庭で購入するのでしょうか。

A 特に柄の指定もなく、安価なもので構わないので各家庭でご準備いただきたいと考えていますが、園で購入できる方が手間が省けるという事であれば、園でも購入可能なように検討させていただきます。

<給食について>

- 給食費として国が示す基準は7,500円（主食費3,000円、副食費4,500円）ですが、月額7,000円（主食費2,000円、副食費5,000円）として土曜日は別で200円/日と設定しています。土曜日の給食は、平日と比べておかずが1品少なくなることで、不足する金額分は法人が負担することで考えています。
- 公立とはスケールメリットでも差が生じることから、現在と同等の金額で提供することは難しいため、ご理解いただきますようお願いします。
- キャンセル対応については、委託運営で前もって食材確保が必要なことから、公立のように柔軟な対応が難しいことはご理解をお願いします。ただ、2週間以上のまとまった休みが判明している場合は、2週間前までに連絡いただくことでキャンセル対応は可能です。
- 学校が夏休みとなる期間で、園児の欠席が多くなることもあると聞いており、夏季期間だけは前もって出欠を確認することで、食費の減額対応ができないか委託業者と交渉しています。その際の急な登園への対応については、お弁当を持参いただくなど、現状の土曜日の対応と同じようにしていきたいと考えています。
- 給食の提供は「LEOC」という会社に運営委託し、食材自体のおいしさを引き出すため、ひと手間かけた調理を行った給食を提供します。なお、公立の給食では2週間のメニューサイクルとなっており、離乳食もひとつの対応となりますが、ひと月間毎日違ったメニューとし、また離乳食も3段階に分けた提供を実施します。アレルギー対応についても個々のアレルギーの状況に応じて、できる限りの対応をいたします。
- クッキングにおいても、子ども達の目の前で魚を捌くことや栽培活動の収穫物の調理など、食育にも力を入れているため、食育だよりなどを通じて、保護者の皆様とも連携していきたいと考えています。
- 保育士の負担軽減のためにも、給食をクラスまで配食したり、盛付けの補助対応など、子ども達の現場に出向いた対応も業者をお願いしています。また、クラス単位などの試食会の実施も承諾いただいでおり、機会があれば実施したいと考えています。

- 委託業者のパンフレットをクラスに1部ずつ配置いただくので、お手隙の際にご覧いただければと思います。

Q 副食費の免除世帯については、主食費の費用負担が新たに発生するという事でしょうか。

A 主食費と副食費はご飯とおかずで分類され、副食費については各家庭の収入に応じて免除となる場合がありますが、副食費免除の考え方は公立でも私立でも変わりはありません。

奈良市より：令和元年度の幼児教育・保育の無償化が開始されることに伴い、3歳児以上の給食費については、実費負担として徴収することとされました。2歳児以下については、従来どおり保育料に給食費が含まれていることから、3歳児から新たに徴収することになる給食費について保護者の方にはイメージしにくいかもしれませんが、徴収金額は違って、費用負担に係る基本的な内容に変わりはありません。

<教材費について>

- 教材費は、保育に使用する教材や消耗品等を購入する費用です。2歳児以上は月額600円を想定しています。これにより、現在は保護者会費で負担いただいている縄跳びやサインペン、実費徴収している栽培用の鉢や土なども支出したいと考えています。
- 教材費の徴収により教材の充実を図り、子どもたちに様々な経験をさせてあげることによって発想力や想像力をより伸ばしていきたいと考えています。また、公立園では限られた財源の中で対応していた部分について、一人一人のもっとやりたいという思いなどにも十分に伝えてあげられるようにしていきたいと考えています。
- チラシや空箱等の廃材の利用は、子ども達にとってとても大切なものであると思っています。教材の充実に合わせて、より幅を持った活用ができるようにしていきたいと考えています。
- 教材費の使用内訳は、学期や半期ごとに皆様に報告していくことを予定しています。

Q 徴収した教材費が余った場合の返金や不足した場合の対応はどうなりますか。

A 教材費が不足した場合の追加徴収は求めませんが、余った場合は3月分を徴収しないなどの対応は検討させていただきます。なお、使用内訳については保護者の方に学期や半期ごとに報告する予定をしているため、それを確認いただきますようお願いします。

<保護者負担に対する補助について>

奈良市より：民間移管に伴う新たな保護者負担に対する補助については、市としては予定していませんので、ご理解をお願いします。

<オムツのサブスク利用について>

- 移管後は、保護者や保育士の負担軽減からも0歳児にはオムツのサブスクのご利用をお願いしていますが、使用メーカーが決まっているため、それにより肌荒れするお子様などには保護者とも相談のうえで別のメーカーのものを園が用意することもひとつの案と考えています。

Q 1～2歳児は、希望者のみサブスクを利用するという認識で良いのでしょうか。

A 成長に応じておむつの使用枚数も少なくなっていくことから、希望者のみご利用いただくことで考えています。なお、サブスクを利用いただくとおむつ替えの際のタオルも園で準備するため、家から持参いただく必要がなくなり、保護者の負担軽減にもなります。

<発熱時や警報発令時の対応について>

- 基本的な考え方は現在の対応と変わりませんが、登園前に警報が出ていた場合等は基本的に家庭保育をお願いします。
- 過去に災害で公共交通機関が止まり、先生が出勤できていない状況でもたくさんの園児が登園され、対応に苦慮したことがありました。そのような事態を防ぐため、安全確認や職員配置等、園の受入体制が整うまでは自宅待機をお願いします。体制が整えば、登降園システムの一斉配信により皆様にお知らせします。

<コドモンの活用について>

- コドモンの利用について、園と家庭の相互連絡機能や登降園システムを導入し、現在より利用の幅を拡大していきます。登園時の視診や欠席連絡についても、コドモンで連絡となるため、朝の聞き取りの時間短縮や連絡などの負担を軽減することができます。登降園時間の管理は、携帯のQRコードもしくはQRコードを印刷したカードを玄関のタッチパネルに読み込ませる方法となります。紛失や代わりの方のお迎えなどを考えてQRコードでの運用を基本としたいと考えています。

Q 登降園システムをカード等で運用した場合、忘れた場合の対応はどのようなのでしょうか。

A 忘れた場合は、システムに直接入力するため、園にお伝えいただければ対応させていただきます。

Q 緊急や重要な連絡事項はコドモンで一斉連絡するだけでなく、電話連絡の方が携帯を確認できない場合にも助かると思います。

A 園の方で配信したものを確認いただいているか把握できるため、未確認となっている保護者の方には電話連絡するなど、対応していくこととなります。

意見 朝の忙しい時に携帯を出してQRコードを表示させるよりも、カードでの運用の方が個人的には対応しやすいと思います。

<セキュリティ強化や駐車場確保について>

- 玄関の門は、セキュリティ強化のため電子錠付の扉を設置することで検討しています。
- 駐車場については、距離や規模を考慮しながら周辺の駐車場の管理者にあたりましたが、了承は得られませんでした。
- 送迎用の駐車場として、まとまった台数の確保が必要であることから、JR奈良駅地下駐車場の利用を検討し、管理者側から了解を得ることができています。この一番近い出口から、子どもの足で園まで5分程度という事と、雨の日の乗降りが安心ではないかと考えています。
- 利用方法は、20分のサービス券を1ヶ月分（20枚又は60枚の設定）まとめて実費負担として事前購入いただき、月額料金として毎月引き落としすることを検討しています。
- 駐車場の使用料は20分100円ですが、実費負担で購入いただく月額料金の一部（3割程度）を法人が補助することを検討しています。
- 園の往復を10分程度と考え、朝はサービス券(20分)1枚での対応、お迎えは園からの連絡等を含め(40分)2枚での対応と仮定し、60枚の設定をしています。
- サービス券の余剰が生じてきた場合など、1カ月単位で購入枚数の変更や停止が可能です。

2 その他について

<その他>

Q 前回配布いただいた資料の保護者会費の部分で、「保護者会の持ち方は保護者に一任」となっていますが、保護者会の存続についても検討するという考え方でしょうか。

A 保護者会の存続や保護者会費をどうするかについては、保護者の皆様に決定いただく事項と考えています。もし、保護者会を廃止することになった場合でも、クラス代表などの保護者代表として園との窓口になっていただける方を決めていただくなどをお願いしたいと考えています。



次回開催日程について

次回の開催日程については、後日調整を行い決定します。

市立幼保施設の民営化に関する問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階)
(担当) 小林 ・ 高野

[TEL] 0742-34-4792 [FAX] 0742-34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[市立幼保施設の再編に関する市のホームページ]

<https://www.city.nara.lg.jp/site/youho-saihen/50142.html>

